

# おきなわ市日誌

## 2/26 沖縄アリーナ引渡しセレモニー

平成30年8月に着工した沖縄アリーナの建設工事が完了し、施設の引渡しセレモニーが行われました。

工事関係者をはじめ、小浜市議会議長、瑞慶山市議会副議長が見守る中、鹿島・仲本・太田・富健特定工事共同企業体を代表し、百田茂所長から桑江市長へ、施設引渡書と鍵が手渡されました。

桑江市長は「万感胸に迫る思いがある。このアリーナが、これまでとは違った賑わいを創出し、沖縄観光の進展、エンターテインメントや各種事業により沖縄経済に大きく貢献できる施設になると確信している。皆さま方が作り上げたこのアリーナを、県民から愛される施設となるよう、しっかりと進めていく」と、今後の決意と、コロナ禍の中、無事に工事を完了させた関係者への感謝を述べました。



## 2/17 勉強もバスケも好きになってね

沖縄市をホームタウンとする琉球ゴールデンキングスの安永淳一取締役と市出身のハーパー ジャンジュニア選手が市役所に訪れ、「琉球ゴールデンキングスドリームスタディドリル」を桑江市長等に贈呈しました。

1589冊のドリルは、科目が増え、勉強が難しくなる3年生に勉強を楽しんでもらうため、市内16の小学校で3年生全員に贈られます。



## 2/26 広島東洋カープへ紺綬褒章

令和元年12月に本市を通して首里城復旧・復興支援金1,000万円を寄付した広島東洋カープへの紺綬褒章伝達式を行い、国から県を経由して届いた褒状を桑江市長から広島東洋カープの松田一宏オーナー代行へ手渡しました。

松田オーナー代行は「首里城の一日も早い復興・復旧を願います」と話しました。



## 2/15 「SCBふるさと応援団」寄付金贈呈式

企業版ふるさと納税による地方創生事業の応援等を目的とした信金中央金庫（東京都）の「SCBふるさと応援団」寄付対象事業に、本市の「スポーツコンベンションシティの推進」が決定し、コザ信用金庫本店で贈呈式が行われました。

本市では、この寄付金を活用し、青少年の競技力向上やスポーツ関連ビジネスの支援等に取り組みます。



## 2/16 議場からカープへ贈る熱いエール

沖縄市議会議員全員と市職員が、広島東洋カープを応援しようと、赤色のカープジャンパーを着用し、市議会2月定例会を開会しました。

桑江市長は「セ・リーグ優勝、日本を目指すカープを市を挙げて応援しましょう」と話しました。

本市での春季キャンプ期間中、沖縄市議会では、カープジャンパーを着用し本会議に臨みました。



# おきなわ市日誌



## 2/26 美里工業高校が全国選抜大会へ

第40回全国高等学校空手道選抜大会男子団体組手に「夢・きぼう枠」で出場する美里工業高等学校空手道部の選手等が、桑江市長へ出場報告を行いました。

部活動や校外外での清掃活動などの取り組みが評価されたもので、座喜味凌雅主将は「悔いのないプレーで日頃の成果を発揮して、まずは1勝し、流れに乗って優勝を勝ち取りたい」と意気込みを話しました。



## 2/24 スポーツの力で社会貢献

地域におけるスポーツの健全な普及及び発展に貢献したとして、令和2年度生涯スポーツ優良団体に選ばれ、文部科学大臣表彰を受けた一般社団法人サンビスカス沖縄の宮城哲郎代表理事等が市役所を訪れ、桑江市長に受賞の報告を行いました。

宮城代表理事は「スポーツを通し、こどもの貧困等、沖縄の社会課題解決に取り組んでいく」と話しました。



## 3/10 飲酒がらみの事件・事故撲滅へ

沖縄地区安全なまちづくり推進協議会が推進する「ちゅらさん運動」の一環として取り組む適正飲酒を自主的かつ積極的に実施している事業者等を認定する適正飲酒推進優良事業者認定証交付式が、沖縄警察署で行われました。

社員の飲酒運転防止に取り組む市東在の新光産業株式会社中部支店を含む3事業者が認定されました。



## 2/24 長年の安全運転に緑十字銀章

令和2年度交通安全賞「緑十字銀章」等の表彰伝達式が沖縄警察署で行われ、沖縄地区からは個人4名と1団体が受賞しました。

本市からは、タクシー運転手として30年以上、無事故・無違反で他の模範となる交通安全優良運転手として、島袋進氏に緑十字銀章が、その配偶者の島袋恵美子氏には感謝状が贈られました。

### 市民健康課より 健康づくり ノート



お問い合わせ  
市民健康課 (内線2242)

### 食生活見直しませんか?

4月になり、就職や進学などで新生活がスタートしたという方も多いのではないのでしょうか。

仕事や勉強、趣味など、やりたいことややらなければいけないことがいっぱいあると思いますが、そんな毎日を過ごせるのも健康な心と体があるからこそ。この機会に、バランスの良い食生活の実践に取り組んでみませんか？

食事のバランスを整えるには、たんぱく質・脂質・炭水化物をバランスよく摂ることが重要です。そのためには、**主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上食べる**のがおすすめです。理想は主食・主菜・副菜が別皿になっている定食形式ですが、ごはん+豚汁の組み合わせやレタスがたっぷり乗ったタコライスなど、それらを組み合わせた料理を上手に活用してもOKです。

また、沖縄市では**クックパッド**を活用し、管理栄養士が監修したヘルシーレシピを紹介しています。左のQRコード読み取ると簡単にアクセスできますので、ぜひご活用いただき、みなさんの健康づくりにお役立てください。

3/4

## ワクチン接種を円滑に進めるために ～国内初のシステム導入

SAPジャパン株式会社(東京都)の内田士郎代表取締役会長、クアルトリクス合同会社(東京都)の熊代悟カントリーマネージャー、桑江市長の三者によるオンラインでの合同記者発表が行われました。

沖縄市では、両社が全世界で提供しているサービスを日本向けのニーズに合わせ、2月に提供を開始した「ワクチン・コラボレーション・ハブ(VCH)」を国内で初めて導入します。

ワクチン接種の予約や2回目の接種時期のお知らせ、接種後の体調把握のための自動音声ガイダンスによる聴き取り、ワクチン接種の際の予診票の入力管理、ワクチンの在庫管理などを一体的に支援、管理するもので、新型コロナウイルスワクチン接種の円滑な進行と確実な管理を行います。



ワクチンは、徐々に供給されていきます。接種券は、対象者に段階的にお送りしますので、お手元に届いてからご予約をお願いします。

### お問い合わせ

こども相談・健康課 新型コロナウイルスワクチン接種プロジェクト・チーム (内線 2078)



2/11

## リノベーションで未来をつくる

平成28年度から開始したまちづくり事業の集大成となる「リノベーションまちづくり@沖縄市シンポジウム」が、オンライン開催されました。

株式会社LIFULL HOME'S総研の島原万丈氏の基調講演のほか、「コザの未来をつくる」と題したパネルディスカッションでは「中央パークアベニューをニューヨークにする」といった熱い思いが語られました。



2/15

## 通信サービスの向上に向け協定締結

本市とジャパンインテグレーション株式会社(新田純也代表取締役)との「沖縄市域における地域BWAサービス実施に関する協定」を市役所で締結しました。

地域BWAとは、事業者が市町村単位に提供する高速・大容量のデータ通信サービスのことで、防災情報の伝達やフリーWi-Fi、こどもや高齢者の見守りなど、ICTによる地域課題の解決が期待されています。

## こちら 沖縄市立郷土博物館

沖縄市の諸見里・山内地域は、戦前はヤマモモの産地として知られていました。

ヤマモモは、方言名でヤマムムと呼ばれています。また、ヤマモモの木をムム木といいます。4月になると、ヤマモモは15センチくらいの小さな実をつけます。赤色に熟した果実は、やや酸味のある甘さで多くの人に好まれています。

戦前を知る山内の方によると、ヤマモモの木にハシゴをかけて登り、腰に縄でくりつけたティールに実を入れ、収穫したそうです。収穫されたヤマモモは、宜野湾市大山から来た仲買人によって買われ、中頭の名物として遠く首里や那覇まで流通しました。民謡の「桃売りアングワ」は、この仲買人を主人公にした芝居に登場する一節です。

現在の諸見里・山内地域は土地の開発がすすみ、ヤマモモの木が少なくなっています。そのような中、山内自治会では、ヤマモモの歌碑を敷地内に設置して当時の様子を伝えたり、地域でヤマモモが育つよう、苗木を植える活動を行っています。

諸見里や山内を通る機会があったら、かつてヤマモモの木が生い茂っていた頃を想像してみてくださいいかがでしょうか。

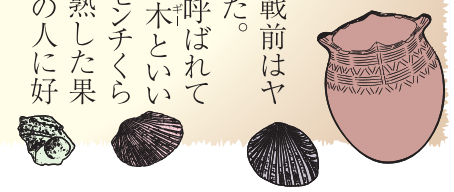
(学芸員:比嘉清和)



ティール



ヤマモモ(山内自治会提供)





# おきなわ市日誌

## 2/20 沖縄市子ども議会議員任命式

第8回沖縄市子ども議会議員の任命式が市役所で行われ、市内全中学校から推薦された子ども議員の中学生31名に、桑江市長から任命状が授与されました。

子ども議員は、勉強会などを通して市の課題等について調査・研究し、各グループで定めた「テーマ」に沿った活動を実践していき、10月の市議会本会議場での発表会で活動報告を行います。



## 2/26 越来中学校の科学作品に県知事賞

アクアポニックスの研究で、第43回沖縄青少年科学作品展県知事賞に輝いた越来中学校3年生の大里柚さん、眞喜志ひのりさん、2年生の大城怜央さん、具志流芽さん等が、受賞報告に市役所を訪れました。

大里さんは「ミステリークレイフィッシュの餌を研究することで、グリーンリーフが大きく育った。将来的には食糧問題などにも取り組みたい」と語りました。



## 3/11 喜びのダブル優勝報告

沖縄東中学校の男女テニス部員等が市役所を訪れ、比嘉教育長に優勝報告を行いました。

喜久川楓さんは、2021 DUNLOP CUP全国選抜ジュニアテニス選手権兼ワールドジュニアテニス世界大会代表選考会九州地域予選大会で優勝を収め、全国大会に出場します。女子テニス部は、第20回沖縄県中学校テニス新人大会の団体戦で優勝を収めました。



## 3/9 皆できれいに使おうね

美里なかばる公園を綺麗にするため、みさと保育園とみはら保育園では、おそうじ隊を結成しています。

園児達は、晴れた日は散歩をしながら美里なかばる公園に行き、自転車等で遊んだ後、「おそうじ隊」と書かれた旗を掲げ、ゴミを拾っています。

諸見里安智施設長は「子どもたちが地域のためにできることを考え、おそうじ隊を始めた」と話しました。



### 今月のあちまい処

- ✕ 市内各地の仲間と集まって楽しく活動している場所をご紹介します。

大里ハイツ集会場で新しく活動を開始した「ハッスル会」。月3回、いきいき100歳体操を行っています。

30年以上続いている模合仲間が主な参加者で、最高齢は90歳。「まだまだ元気に、ハッスルするぞ〜!」というリーダーさんの思いが、会の名前になりました。

しばらく顔が見えない方がいると、リーダーが自宅へ様子を見に行くこともあり、見守りも兼ねた集りになっています。皆さんも身近な方々と介護予防しませんか?



活動日：毎月第1・2・3 火曜日 14時～  
場所：大里ハイツ集会場  
お問い合わせ：介護保険課(内線3143)



## 2/23 感動と喜びを分かち合う音楽祭

障がいのある方が、音楽を通し社会に参加すること等を目的とした「第14回・15回合同企画愛音楽音楽祭」(NPO法人サポートセンターセントミ主催)が、オンライン開催され、県内外から12組が参加し、歌や和太鼓、ダンス、ピアノ等を披露しました。

第14回のグランプリのアネラ賞を受賞したのは、キラキラエデュケーレ。

第15回のアネラ賞を受賞したのは、Paraphrase。

Paraphraseは、11月に東京国際フォーラムで開催予定の「第18回ゴールドコンサート」(NPO法人日本バリアフリー協会主催)に出場します。

審査中には、市在住の車いすユーザー岩永恵さんと知宏さん夫妻による「車いすの花嫁ファッションショー」が行われ、音楽祭に花を添えました。



## 2/27 音楽のまちのジャズフェスティバル

「ミュージックタウン音市場企画コザJAZZvol.1」が、コザ・ミュージックタウンで開催されました。

1階音楽広場では、コロナ禍で活動機会が減少したコザ高等学校、美東中学校、山内中学校、美里中学校、高原小学校、比屋根小学校の吹奏楽部等のメモリアルステージとして、クラシックや歌謡曲などバラエティに富んだ演奏を観客と一体となって楽しみました。

メインステージの音市場3階ホールでは、真栄里英樹BIG BANDによる「茶色の小瓶」等のJAZZの定番曲をはじめ、沖縄民謡等の幅広い楽曲と真栄里氏の軽快なトークなどが繰り広げられました。

観客の一人は「生の迫力ある演奏でとても良かった。こういう機会がもっと増えてほしい」と、久しぶりの音楽イベントを堪能していました。



## 3/8 童話集を通して子ども達を支援

比屋根在の太田建設株式会社の太田美範会長等が市教育委員会を訪れ、市内小中学校に第51回ENEOS童話賞作品集「童話の花束」300冊を寄贈しました。

毎年、童話集の寄贈を続けている太田会長は「子ども達のために寄贈できることを大変うれしく思う」と話し、比嘉教育長は「子ども達も楽しみに待っている。支援のお気持ちに感謝する」とお礼を述べました。



## 3/8~10 特殊災害に備え訓練

化学物質などによる特殊災害に対応するための「令和2年度沖縄市消防本部特殊災害対応中隊訓練」が、市消防本部で行われました。

市内での特殊災害発生を想定した訓練で、化学防護服に身を包んだ隊員が、現場確認や被害者の移送、除染などに対応し、資機材の取り扱い及び組織的活動の連携強化を図りました。